

GOOD LIVING HEADLINE

ビジネス
ユーザーの皆様へ

12
2021

商品のトレンドや新しい制度などお役に立つ情報を、日頃お引き立ていただいているビジネスユーザーの皆様へ発信します。



2050年カーボンニュートラルに向けて 住宅分野でも省エネ対策が進められます!

世界的な地球温暖化対策が進む中で、日本でも2020年に「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、2021年8月には、国土交通省・経済産業省・環境省による「脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ対策等のあり方・進め方」が公表されました。今回はカーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築業界の取り組みについて紹介します。

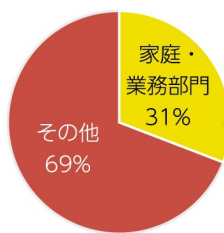
カーボンニュートラルとは?

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出量を実質ゼロに抑えるという概念。人類が生きていくには温室効果ガス排出は避けられないので、排出を吸収で相殺し、地球温暖化への影響を軽微にしようとの考えに基づいている。

(小学館 日本大百科全書より)

日本が掲げる目標

- ☑ **2030年** 温室効果ガスを2013年度から46%削減
- ☑ **2050年** カーボンニュートラル実現



日本のエネルギー総需要の割合 (2013年度原油換算)

住宅・建築物分野を含む家庭・業務部門は約3割を占め、大幅な削減が求められています。

脱炭素社会に向けた 住宅・建築物における省エネ対策〈目標〉

- ☑ **2030年** 新築される住宅・建築物についてZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能が確保され、**新築戸建住宅の6割に太陽光発電設備が導入**されていること
- ☑ **2050年** ストック平均でZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能が確保され、**導入が合理的な住宅・建築物において太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入が一般的**となること

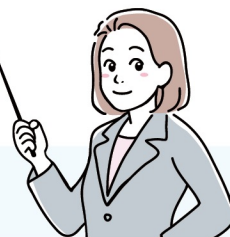
2050年度までの住宅に関わる省エネ対策ロードマップ

- 2022**
 - 補助制度における省エネ基準適合要件化
 - 未習熟な事業者の断熱施工の実地訓練を含めた技術力向上の取り組み
 - 太陽光発電設備を設置するための新築時からの備えに関するとりまとめと周知
- 2023**
 - フラット35における省エネ基準適合要件化
- 2024**
 - 新築住宅の販売・賃貸時における省エネ性能表示の施行
 - 既存住宅の省エネ性能表示の試行

Point!
裏面へ

Point!
裏面へ

- 2025**
 - 住宅の省エネ基準への適合義務化
 - 住宅トップランナー基準の見直し (目標2027年度)
- 2030**
 - 誘導基準への適合率が8割を超えた時点で省エネ基準をZEH基準に引き上げ・適合義務付け
 - あわせて2022年に引き上げた誘導基準等の更なる引き上げ
- ~2050**
 - 継続的にフォローアップ基準等を見直し



※上記はおおよそのスケジュールで、実施時期および内容については、審議の上で決定、実施される予定です。

裏面でポイントを紹介します。

裏面へ



Point!
解説

多方面から継続して省エネ対策を強化

01. 太陽光発電の取り組み

2050年に太陽光発電等の再生可能エネルギー導入の一般化を目指して、2030年に新築戸建住宅の6割導入が目標として設定された。これに向けて、2022年には取りまとめと周知が行われる予定。

02. フラット35の省エネ要件化

フラット35は、民間金融機関と住宅金融支援機構が提供する、最長35年の全期間固定金利住宅ローン。2023年には借入対象となる住宅の省エネ基準適合が予定され、これに伴い住宅購入予定者が求める要件が変化する可能性も。

03. 省エネ基準への適合義務化

2021年4月施行の改正建築物省エネ法では、延べ床面積300平方メートル以上の建築物について、省エネ基準を満たすよう義務付けているが、住宅は対象外。2025年度からは住宅も義務付けの対象になる予定。



2050年カーボンニュートラル実現に向けて、住宅建設企業においても省エネ基準を満たす家づくりに今から取り組んでいくことが必要です。



出典：脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会『脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ対策等のあり方・進め方』（2021年8月）

New システムキッチンカナリエに ぴたっとすっきりタイプが登場



わたしらしく、
こちよく。

ハウステックの願いは、
ライフスタイルがどう変わっても
自宅で過ごす大切な時間をこちよく、
快適なものにすること。

キッチンをもっと快適に使いやすく。

使いやすさの工夫を散りばめた
新しいキッチンのかたち。

ぴたっと

スライド マグネットラック

コンロ横に、調味料やレードル類をまとめて収納できるスライドラックを設けました。ボードはマグネット対応で、使いやすくカスタマイズできます。



マグネットボード

調理台キャビネットの扉裏面にマグネットボードを取りつけました。マグネットアイテムをぴたっとつけて、自分だけのオリジナル収納スペースが作れます。



すっきり

ゴミ箱収納付き シンクキャビネット

シンクキャビネットにゴミ箱を収納したので、キッチンですっきり保てます。シンク下にあるため、生ごみをサッと捨てられます。



除菌手間らくゴミカゴ

銅製の排水口ゴミカゴが、銅イオンの抗菌特性で原因菌の増殖をおさえて、いやーなニオイやぬめりを防ぎます。



編集後記

2050年のカーボンニュートラル達成に向け、住宅・建築物分野の対策強化が強く求められており、企業の規模に関わらず、2025年度に予定されている省エネ基準達成のための取り組みを早急に進める必要があります。省エネ基準を達成している場合は、ZEH住宅などに挑戦することで、よりサステナブルな家づくり、企業づくりを目指していきたいですね。

Follow Me !!



ハウステック 公式
Instagram
@housetec_official1962

